

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	い〜まCrea中川 I (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの発達に合わせた支援の提供。	保護者への聞き取りだけでなく、発達検査などを通して丁寧なアセスメントを行うことで課題点を明確化し、指導内容の検討、実践を行っています。また、言語聴覚士の先生とも相談をしながら支援をしています。	モニタリング時の振り返りだけでなく、定期的に検査を実行し、個々の発達の変化を分析して再検討していく。
2	より専門性のある支援が提供できるよう、職員の資質向上に努めている。	年間を通して定められた社内研修以外に、定期的なケースカンファレンスや勉強会の実施、法人内の児童発達支援・放課後等デイサービス同士で支援内容などの情報共有を行っている。	個々で社外研修などにも参加しているため、社外で学んだ内容についても情報共有していく。
3	子どもが通所を楽しみにしており、保護者にも満足いただいている。	成功体験が増やせる課題設定とともに、スモールステップで難易度を上げ、子どもが嫌にならずに参加できるようにしている。 何か困り事などがあった際は、親身になって話を聞き、助言等を行っている。	指導内容がマンネリ化しないように、定期的に新しいことを取り入れて、子ども達が様々な経験を通して学べるよう検討していく。また、安心して通所していただけるよう事業所として丁寧に助言等をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所に関する情報発信力が弱い	普段のどのような活動を行っているのか発信しきれていない部分がある。	子ども達の活動の様子ができるようより丁寧な報告をHPやInstagramを活用し発信していく。
2	非常時等の対応に関する情報のご家庭への周知不足	各種マニュアルの内容について詳細まで周知できていない。	安心して通所していただけるよう事業所として非常時にどのように対応を行っていくのか具体的に説明を行う。
3	関係機関との連携が十分にできていない	担当者会議や保護者からの要望があった際に連携を取ることはい多いが、事業所発信で連携を取る機会は少ない。	支援を行うにあたって必要な情報に関しては、ご家庭との連携だけでなく、学校や関係機関とも共有ができるよう努めていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	い〜まCrea中川 I (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの発達に合わせた支援の提供。	保護者への聞き取りだけでなく、発達検査などを通して丁寧なアセスメントを行うことで課題点を明確化し、指導内容の検討、実践を行っています。また、言語聴覚士の先生とも相談をしながら支援をしています。	モニタリング時の振り返りだけでなく、定期的に検査を実施し、個々の発達の変化を分析して再検討していく。保育所や幼稚園を訪問し、支援内容等の情報を共有できるよう図っていく。
2	より専門性のある支援が提供できるよう、職員の資質向上に努めている。	年間を通して定められた社内研修以外に、定期的なケースカンファレンスや勉強会の実施、法人内の児童発達支援・放課後等デイサービス同士で支援内容などの情報共有を行っている。	個々で社外研修などにも参加しているため、社外で学んだ内容についても情報共有していく。
3	子どもが通所を楽しみにしており、保護者にも満足いただいている。	成功体験が増やせる課題設定とともに、スモールステップで難易度を上げ、子どもができる実感を得ながら参加できるようにしている。 何か困り事などがあった際は、親身になって話を聞き、助言等を行っている。	指導内容がマンネリ化しないように、定期的に新しいことを取り入れて、子ども達が様々な経験を通して学べるよう検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所に関する情報発信力が弱い	普段のどのような活動を行っているのか発信しきれていない部分がある。	子ども達の活動の様子がわかるよう、より丁寧な報告をHPやInstagramを活用し発信していく。
2	非常時等の対応に関する情報のご家庭への周知不足	各種マニュアルの内容について詳細まで周知できていない。	安心して通所していただけるよう事業所として非常時にどのような対応を行っていくのか具体的に説明を行う。
3			